


武蔵村山市 令和7年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	巡回相談員配置事業			
	施策名称	第4章 誰もが学び活躍できるまちづくり 第2節 教育 1 学校教育			
	所管部署	教育 部	教育指導 課	教育支援 係	内線 633
	根拠法令等	武蔵村山市特別支援教育巡回相談員設置要綱			
目的	市立学校に在籍する教育上特別な支援を必要とする児童・生徒に対しての行動観察を行い、専門的な見地から助言又は援助を行うことで、個に応じた支援を行うとともに、市立学校の特別支援教育を推進する。			SDGsの取組 4 質の高い教育をみんなに	
内容	学識経験者、臨床心理士、特別支援教育コーディネーター、就学相談員等で構成され、市立学校への巡回相談を実施し、教員などに対して、特別な教育的支援が必要な児童・生徒の指導内容や方法及び個々に応じた支援体制の在り方等について、適切な助言を行う。				

評価指標	指標名	単位	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度
				1	巡回回数	回
			実績	22	13	
			達成率	55%	33%	
2	—	—	目標	—	—	—
			実績	—	—	
			達成率	—	—	


事業経費		令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算	市民・議会等から寄せられた意見	
事業費(千円)		229	348	348		—
財源内訳	一般財源	229	348	348		
	国都支出金	0	0	0		
	その他	0	0	0		
人件費	会計年度任用職員以外の職員(千円)	385	392	430		
	所要人員(人)	0.05	0.05	0.05		
	会計年度任用職員(千円)	15	16	19		
	所要人員(人)	0.01	0.01	0.01		
合計(事業費+人件費)		629	756	797		

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か		<input checked="" type="checkbox"/>	必要である	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある
		市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	適合している	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	<input type="checkbox"/>
有効性	市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/>	実施している	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当
効率性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/>	影響は大きい	<input type="checkbox"/>	影響は少ない	<input type="checkbox"/>	非該当
	受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/>	適切である	<input type="checkbox"/>	不適切な部分がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当
	施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/>	適切である	<input type="checkbox"/>	不適切な部分がある	<input type="checkbox"/>	
効果性	民間委託等は可能か	<input checked="" type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当
	事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当
	類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当

令和6年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
令和6年度の巡回相談回数は、13回である。巡回相談を実施した児童・生徒等については、特別支援教育専門委員会において報告し、指導上の留意点などについての意見交換を通じ、指導内容の充実を図っている。	近年、本市でも特別支援学級及び特別支援教室に通室する児童・生徒が増加傾向にあり、今後もその状況は続くと思われる。 巡回相談員制度は、教育上特別な支援を必要とする児童・生徒の教育環境の確保に向けて有効な制度である。 巡回相談の実施に当たっては、専門的知識のある学識経験者、臨床心理士等の確保が必要となる。

今後の方針																						
【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">今後の方針</th> </tr> <tr> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </thead> </table>			今後の方針			コスト			成果	向上				維持		○		低下			
				今後の方針																		
		コスト																				
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
引き続き、巡回相談員を派遣することで、児童・生徒一人一人に応じた支援を行うとともに、市立学校の特別支援教育を推進する。 なお、令和5年度に実施した行政評価委員会による外部評価の意見を踏まえ、令和6年度から学校派遣依頼に基づく派遣のほか、教育委員会が学校を選定し派遣を行い、特別支援教育の充実を図っており、令和7年度も事業を継続する。	(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)																					

武蔵村山市 令和7年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	小学校学校給食調理等業務委託事業		
	施策名称	第4章 誰もが学び活躍できるまちづくり 第2節 教育 1 学校教育		
	所管部署	教育 部	学校給食 課	— 係 外線 042-5416-9020
	根拠法令等	—		
	目的	将来にわたって学校給食を安定的に提供するとともに、経費の削減及びサービス水準の維持向上を図るため、武蔵村山市防災食育センターの稼働に合わせて小学校学校給食の調理等業務を委託する。		SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを 
内容	武蔵村山市防災食育センターにおける小学校学校給食の調理等業務について民間委託を実施する。民間委託に向けてプロポーザルの実施及び事業者との契約締結を行う。			

評価指標	指標名	単位	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度
				1	武蔵村山市小学校学校給食調理等業務委託プロポーザルの実施	—
2	優先契約交渉事業者との契約締結	—	実績	実施	—	—
			達成率	—	—	—
			目標	—	実施	—
			実績	—	実施	—
			達成率	—	—	—
			目標	—	—	—


事業経費		令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算	市民・議会等から寄せられた意見	
事業費(千円)		0	1,155	208,826		—
財源内訳	一般財源	-	1,155	208,826		
	国都支出金	-	0	0		
	その他	-	0	0		
会計年度任用職員以外の職員(千円)	15,384	7,832	25,742			
人件費	所要人員(人)	2.00	1.00	3.00		
	会計年度任用職員(千円)	0	0	0		
	所要人員(人)	0.00	0.00	0.00		
合計(事業費+人件費)		15,384	8,987	234,568		

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	
		<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
有効性	市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
効率性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当
		<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input type="checkbox"/> 非該当
効果性	施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある
		<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
民間委託等は可能か	事業費の更なる削減は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
類似事業等との統合は可能か		<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当

令和6年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
令和5年度に実施した武蔵村山市小学校学校給食調理等業務委託プロポーザルにより決定した優先契約交渉事業者との契約を締結した。 1 契約締結日：令和7年1月29日 2 委託期間：令和7年1月29日から令和13年7月31日まで 3 契約の方法：地方自治法施行令第167条の2第1項第2号の規定による随意契約	小学校学校給食調理業務については、令和7年4月から実施しているため、事務事業の推進に当たっての課題等は今後の委託業務を検証した後で検討することとなる。

今後の方針																								
【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了 本事業は、武蔵村山市防災食育センターの稼働に合わせて小学校学校給食の調理等業務を民間委託するものであり、委託事業者、市内小学校9校と連携を図り、小学校学校給食の円滑な運営を行う。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">今後の方針</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)</p>	今後の方針		コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
今後の方針		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		○																					
	低下																							

武蔵村山市 令和7年度事務事業評価調書

事務事業の概要	事務事業名	適応指導教室機能強化事業		
	施策名称	第4章 誰もが学び活躍できるまちづくり 第2節 教育 1 学校教育		
	所管部署	教育部	教育指導課	教育支援係 内線 633
	根拠法令等	武蔵村山市適応指導教室機能強化補助事業実施要項		
目的	適応指導教室の機能強化に向けた方策の確立を図るとともに、適応指導教室に通室していない児童・生徒に対しても、学習・登校支援員による家庭訪問を実施することにより、通室や登校ができるよう、状況に応じた環境を整備する。		SDGsの取組 4 質の高い教育をみんなに	
内容	学習支援員、登校支援員による家庭等の訪問を行い、不登校児童・生徒の社会的自立に向け、一人一人の状況に応じた学習指導及び進路指導等生活相談を実施する。			

評価指標	指標名	単位	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度
				1	家庭等訪問実施回数（延べ）	回
			実績	88	120	
			達成率	55%	86%	
2	適応指導教室に通う児童・生徒及び自宅に引きこもる児童・生徒の高校等進学率	率	目標	100	100	—
			実績	100	100	
			達成率	100%	100%	

事業経費				市民・議会等から寄せられた意見	
事業費（千円）	令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算	—	
財源内訳					
一般財源	739	992	0		
国都支出金	370	500	-		
その他	369	492	-		
	0	0	-		
人件費					
会計年度任用職員以外の職員（千円）	924	940	0		
所要人員（人）	0.12	0.12	0.00		
会計年度任用職員（千円）	0	0	0		
所要人員（人）	0.00	0.00	0.00		
合計（事業費+人件費）	1,663	1,932	0		


視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
		市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input type="checkbox"/> 影響は大きい	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当
		受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		施策への貢献度は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input checked="" type="checkbox"/> 不適切な部分がある
	効率性	民間委託等は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当

令和6年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
令和6年度の家等訪問実施回数は延べ120回である。年度末に不登校等支援対策連絡協議会において、事業の評価及び検証を実施した。	近年、本市においても不登校児童・生徒が増加傾向にある。一方で、学習・登校支援員による支援実績が不登校児童・生徒の登校再開等につながらず、支援に伴う費用対効果が結果的に見込めない。

今後の方針																								
【今後の方向性】	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																							
令和6年度は、引き続き、家庭等に学習・登校支援員を派遣することで、児童・生徒や保護者の悩み等にきめ細かく対応し、児童・生徒が自らの進路を主体的に捉え、社会的自立を目指すことができるよう支援した。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">今後の方針</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	今後の方針		コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
今後の方針		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
令和7年度以降は、本事業の実施内容と類似性のある「スクールソーシャルワーカー活用事業」によるスクールソーシャルワーカーの活動実績を増やすことにより、不登校対策・支援につなげることが重要であると考えているため、本事業を廃止とし、スクールソーシャルワーカー活用事業に統合する方針である。																								

(廃止・休止・終了の場合は「O」の記入不要)

武蔵村山市 令和7年度事務事業評価調書

事務事業の概要	事務事業名	スクールソーシャルワーカー（SSW）活用強化モデル事業		
	施策名称	第4章 誰もが学び活躍できるまちづくり 第2節 教育 1 学校教育		
	所管部署	教育部	教育指導課	教育支援係 内線 633
	根拠法令等	スクールソーシャルワーカー活用事業実施要領		
	目的	市内全小・中学校の児童・生徒が抱えるいじめ、不登校、暴力行為、児童虐待等生活指導上の課題に対応する。		SDGsの取組 4 質の高い教育をみんなに 
内容	社会福祉等の専門的な知識・技術を用いて、児童・生徒の置かれた様々な環境に働き掛けて支援を行うスクールソーシャルワーカー（以下「SSW」という。）を配置し、教育相談体制を整備する。			

評価指標	指標名	単位	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	1	SSWの配置実績（基準である「全小・中学校週1回3時間以上の配置」を目標とする）	週	目標	—	45
2	各関係機関（小・中学校を含む）へのSSW活用方法等の理解・周知を目的とした研修の開催	回	実績	—	45	
			達成率	—	100%	
			目標	—	1	1
			実績	—	0	
			達成率	—	0%	
			目標	—	0	0

事業経費				市民・議会等から寄せられた意見		
事業費（千円）	令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算	—		
財源内訳						
一般財源	5,492	15,142	24,019			
国都支出金	2,747	2,009	13,264			
その他	2,745	13,133	10,755			
会計年度任用職員以外の職員（千円）	0	0	0			
人件費						
所要人員（人）	0.00	0.00	0.00			
会計年度任用職員（千円）	4,273	6,251	7,431			
所要人員（人）	3.00	4.00	4.00			
合計（事業費+人件費）	9,765	21,393	31,450			


視点別の分析	妥当性	有効性	効率性	市民・議会等から寄せられた意見		
	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 困難である	—	
市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 影響は少ない	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	—		
市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	—		
廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input type="checkbox"/> 非該当	—		
受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当	—		
施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input type="checkbox"/> 非該当	—		
民間委託等は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当	—		
事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当	—		
類似事業等との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当	—		

令和6年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
東京都が目指す強化モデルとして本事業を実施している。令和6年度は、SSWの各校の配置について東京都が目指す姿として掲げる基準を踏まえ「市内全小・中学校への週1回3時間以上の配置」を実現し、100%達成している。	令和5年度まで実施していた学校からの依頼に対応する「派遣型」から、令和6年度に開始した東京都が目指す全小・中学校に週1回3時間以上配置できる「強化モデル」としての「巡回型」に変更した。 運用としては、週3日（1日7時間）勤務のSSW4人を3校2人、4校2人（計14校）で振り分けて業務に当たっているが、各小・中学校の所在地までの移動時間も含めると、SSWの1日7時間勤務のうち約半日分を消費することになる。 現状は、4校を受け持つ職員2人の記録事務・調整対応等に当てられる時間が実質週1日分しかなく、必要な執務時間が確保できていないため、必要十分な支援等につなげられずに新規相談の受付も難しくなる可能性が懸念される。

今後の方針			
【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了			
本市では、東京都が目指す強化モデルとして事業を実施しており、全小・中学校に週1回3時間以上配置できる「巡回型」としては、週3日（1日7時間）勤務のSSW4人を3校2人、4校2人（計14校）で振り分けて業務に当たっている。 現状の体制では、必要な執務時間が確保できていないため、配置学校数（14校）と同数となるSSWの勤務日数を確保しなければ、強化モデルの実施効果を最大限に引き上げることができないと考えるため、現行の体制の見直しを検討していく。			
成果	今後の方針		
	コスト		
	削減	維持	増加
向上			○
維持			
低下			

（廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要）

武蔵村山市 令和7年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	ICT教育支援員派遣事業			
	施策名称	第4章 誰もが学び活躍できるまちづくり 第2節 教育 1 学校教育			
	所管部署	教育 部	教育総務 課	教育政策 係	内線 424
	根拠法令等	学校教育の情報化の推進に関する法律 学校教育情報化推進計画			
	目的	GIGAスクール構想を推進する中でICT教育の推進は必要不可欠であると考えられる。ICT教育支援員の派遣を行うことにより教員のICT活用指導力の向上に資することを目的とする。			SDGsの取組 4 質の高い教育をみんなに 
内容	市内各小・中学校へICT教育支援員を派遣し、各校の教員に対しICT教育の進め方等について指導・助言を行うことによりGIGAスクール構想の一環としてICT教育推進のための支援を行う。				

評価指標	指標名	単位	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度
				1	ICT教育支援員が実施した研修に参加した教員の人数	人
			実績	262	477	
			達成率	92%	167%	
2	ICT教育支援員が授業支援を実施した回数	回	目標	1,075	1,075	1,344
			実績	744	1,453	
			達成率	69%	135%	


事業経費		令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算	市民・議会等から寄せられた意見
事業費(千円)		17,699	16,499	19,800	
財源内訳	一般財源	4,426	4,125	4,950	
	国都支出金	13,273	12,374	14,850	
	その他	0	0	0	
人件費	会計年度任用職員以外の職員(千円)	9,692	9,868	10,812	
	所要人員(人)	1.26	1.26	1.26	
	会計年度任用職員(千円)	0	0	0	
	所要人員(人)	0.00	0.00	0.00	
合計(事業費+人件費)		27,391	26,367	30,612	

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
		市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当
		受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある
	効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当

令和6年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
市内各小・中学校に月4回ICT教育支援員を派遣し、教員に対してICT教育の進め方等の指導・助言を行った。	ICT教育支援員が行う支援内容のうち、ICT機器の活用支援など、基礎的な支援を行う割合が比較的大きいが、年々ICTを活用した授業の支援の割合が増えてきている。今後、更にその割合を増やすような働きかけをしていく必要がある。

今後の方針																						
【今後の方向性】	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																					
ICT教育支援員の派遣については、今後ICT教育を進める上で大きな役割を担っていることから、継続的に教員等に対して支援を行う必要がある。																						
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">今後の方針</th> </tr> <tr> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </thead> </table>				今後の方針			コスト			成果	向上				維持		○		低下			
				今後の方針																		
		コスト																				
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)																						

武蔵村山市 令和7年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	補助教員派遣事業		
	施策名称	第4章 誰もが学び活躍できるまちづくり 第2節 教育 1 学校教育		
	所管部署	教育 部	教育指導 課	指導 係 内線 434
	根拠法令等	—		
目的	特色ある学校づくりを推進するとともに、児童一人一人に目の行き届いた教育を実現し、地域で学校を支える体制づくりを実現する。		SDGsの取組 4 質の高い教育をみんなに	
内容	市内全小学校（9校）にエデュケーション・アシスタント（補助教員）を派遣し、教育内容の充実を図るものであり、各校に1名ずつ配置する。 なお、令和7年度は東京都教育委員会の小1重点支援モデルの実施により、大南学園七小（2名）・八小（2名）・十小（1名）の追加配置を行っている。			

評価指標	指標名	単位	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	1	補助教員の配置校数 ※令和6年度よりエデュケーション・アシスタントの配置校数	校	目標	9	9
			実績	9	9	
			達成率	100%	100%	
2	—	—	目標	—	—	—
			実績	—	—	
			達成率	—	—	


事業経費				市民・議会等から寄せられた意見		
	令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算			
事業費（千円）	8,059	8,039	35,555	—		
財源内訳	一般財源	8,059	0			
	国都支出金	0	8,039			
	その他	0	0			
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	77	79			
	所要人員（人）	0.01	0.01			
	会計年度任用職員（千円）	0	0			
	所要人員（人）	0.00	0.00			
合計（事業費+人件費）	8,136	8,118	35,641			

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
		市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当
		受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある
	効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当

令和6年度の実績	事務事業の推進に当たった課題
<ul style="list-style-type: none"> 配置人数 9人 報酬 8,039,531円 <p>エデュケーション・アシスタント（補助教員）が学級担任の学習指導の補助を行うことで、個に応じた指導の充実を図ることができた。また、生活指導面においても、担任と連携し児童への理解を深めることに貢献した。</p>	<p>令和5年度まで補助教員として勤務していた会計年度任用職員を、令和6年度よりエデュケーション・アシスタントとして全小学校へ配置をしており、令和7年度に雇用条件等の見直しを図っている。</p> <p>引き続き、地域から人材を発掘する必要があることから、教育への関心を高め人材確保につなげるため、学校の教育内容を継続的に地域に発信し、周知を図っていく。</p>

今後の方針																								
【今後の方向性】	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																							
東京都のエデュケーション・アシスタント配置支援事業を活用し、同事業に沿った雇用条件等の見直しを図ることにより学校現場における支援時間の拡大につなげ、更なる教員の負担軽減を通じて児童一人一人に目の行き届いた教育を推進していく。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">今後の方針</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)</p>	今後の方針		コスト					削減	維持	増加	成果	向上		○		維持				低下			
今後の方針		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上		○																					
	維持																							
	低下																							

武蔵村山市 令和7年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	英語検定事業		
	施策名称	第4章 誰もが学び活躍できるまちづくり 第2節 教育 1 学校教育		
	所管部署	教育 部	教育指導 課	指導 係 内線 434
	根拠法令等	—		
	目的	学力の向上を図り、高等学校の受験に役立てること等を目的に英語検定の技能試験を取り入れることにより、生徒が目標をもって努力する態度を身に付けられるようにするとともに、学力の向上及び高校受験対策を図る。		SDGsの取組 4 質の高い教育をみんなに 
内容	中学校第3学年生徒の希望者を対象に英語検定を実施する。			

評価指標	指標名	単位	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度				
				1	英語検定の受検率	%	目標	60.0	60	60
								実績	34.8	33.9
達成率	58%	57%								
2	—	—	目標	—	—	—				
				実績	—	—				
				達成率	—	—				

事業経費		令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算
事業費(千円)		1,116	1,245	1,936
財源内訳	一般財源	1,116	1,245	1,936
	国都支出金	0	0	0
	その他	0	0	0
人件費	会計年度任用職員以外の職員(千円)	231	235	258
	所要人員(人)	0.03	0.03	0.03
	会計年度任用職員(千円)	0	0	0
	所要人員(人)	0.00	0.00	0.00
合計(事業費+人件費)		1,347	1,480	2,194

市民・議会等から寄せられた意見

令和6年度にまち・ひと・しごと創生総合戦略推進委員会委員より、対象学年の拡大についての提案があった。


視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
		市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当
		受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある
	効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当

令和6年度の実績	事務事業の推進に当たった課題
志願者数 251人 (うち受験者数 224人) 合格者数 96人 合格率 38.2% ●級別の受験者数、合格者数及び合格率 (受験者数) (合格者数) (合格率) 2級: 18人 5人 27.8% 準2級: 52人 15人 28.8% 3級: 143人 71人 49.7% 4級: 11人 5人 45.5% 5級: 0人 0人 0%	受験率及び合格率を向上させるため、周知強化の徹底等の対策を図っていく必要がある。

今後の方針																								
【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了 本事業は平成29年度までは中学校第3学年生徒全員を対象としていたが、平成30年度より中学校第3学年生徒のうち希望者のみを対象として実施してきた。本市の合格率は、平成30年度の33.1%から令和3年度から令和5年度までにかけて上昇傾向であったが、令和6年度は38.2%となり、昨年度と比較して低下した。また、受験者のうち、2級に合格する生徒数にも増加が見られ、令和6年度は5人であった。中学校第3学年の英語の学習内容が英語検定3級と同程度であるので、このことは、生徒の意欲の表れであるとともに、長年本市で継続させてきた外国語指導に関する各種事業の成果であると捉えている。引き続き、生徒が自主的に自分なりの目標を立て、全国的な検定試験に挑戦できる機会を継続して創出し、周知強化の徹底により目標とする受験率60%の達成を目指す。今後もより高い目標を目指して努力する生徒を応援する事業として本事業を継続させたいと考える。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">今後の方針</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	今後の方針		コスト					削減	維持	増加	成果	向上		○		維持				低下			
今後の方針		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上		○																					
	維持																							
	低下																							

(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)

武蔵村山市 令和7年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	学校司書配置事業		
	施策名称	第4章 誰もが学び活躍できるまちづくり 第2節 教育 1 学校教育		
	所管部署	教育 部	教育指導 課	指導 係 内線 434
	根拠法令等	学校図書館法		
	目的	市立学校における読書活動を推進し、児童・生徒の健全な育成に資するとともに、子供たちの成長のため、よりよい読書環境を整備する。		SDGsの取組 4 質の高い教育をみんなに 
内容	市内全小・中学校に、学校司書を配置する。			

評価指標	指標名	単位	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度
				1	児童・生徒一人当たり貸出冊数	冊
			実績	35.57	35.48	
			達成率	89%	89%	
2	—	—	目標	—	—	—
			実績	—	—	
			達成率	—	—	

事業経費		令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算	市民・議会等から寄せられた意見
事業費(千円)		14,341	14,682	15,947	
財源内訳	一般財源	14,341	14,682	15,947	
	国都支出金	0	0	0	
	その他	0	0	0	
人件費	会計年度任用職員以外の職員(千円)	77	79	86	
	所要人員(人)	0.01	0.01	0.01	
	会計年度任用職員(千円)	0	0	0	
	所要人員(人)	0.00	0.00	0.00	
合計(事業費+人件費)		14,418	14,761	16,033	


視点別の分析	内容	評価	
		必要である	見直しの余地がある
妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 非該当
	市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 非該当
	受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある
効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	事業費の更なる削減は可能か	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	類似事業等との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 非該当

令和6年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
配置人数 14人 報酬 14,682,294円	学校司書が専門知識を十分に発揮して活躍できる組織・体制づくりを検討するとともに、各校の学校司書が連携し、自らのスキルアップを図る必要がある。

今後の方針																								
【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了 学校、議会、市民等からの強い要望もあり、特に学校側からの学校司書に期待する役割は大きく、読書環境等の整備のため引き続き本事業の充実を図っていく必要がある。 市内全小中学校における年間の図書貸出冊数も、20万冊程度で推移をしており、司書教諭等と連携を図りながら学校司書が業務に当たっている成果と考えられる。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">今後の方針</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	今後の方針		コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
今後の方針		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		○																					
	低下																							

(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)

武蔵村山市 令和7年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	地域未来塾事業			
	施策名称	第4章 誰もが学び活躍できるまちづくり 第2節 教育 1 学校教育			
	所管部署	教育 部	文化振興 課	生涯学習 係	内線 652
	根拠法令等	武蔵村山市地域未来塾実施要綱			
	目的	経済的な理由や家庭の事情により、家庭での学習が困難である等、学習習慣が十分に身につけていない児童・生徒を対象に、地域住民等の協力を得て学習支援を実施し、学習習慣の確立や基礎学力の定着等を図る。			SDGsの取組 4 質の高い教育をみんなに
内容	放課後や夏休み等、通常授業でない時間帯に学校の空き教室を利用して実施している。実施に当たっては、各学校に登録している学習支援員が知識や経験をいかし、学習支援に従事する。				

評価指標	指標名	単位	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度
				1	地域未来塾の実施校数	校
			実績	14	13	
			達成率	100%	93%	
2	—	—	目標	—	—	—
			実績	—	—	
			達成率	—	—	


事業経費		令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算	市民・議会等から寄せられた意見	
事業費(千円)		5,410	5,264	7,228		実施校からは、「生徒の学ぶ意欲が高まった」、「参加児童の学力向上が見られた」等の声がある。
財源内訳	一般財源	1,804	1,755	2,416		
	国都支出金	3,606	3,509	4,812		
	その他	0	0	0		
人件費	会計年度任用職員以外の職員(千円)	2,308	3,760	4,119		
	所要人員(人)	0.30	0.48	0.48		
	会計年度任用職員(千円)	43	204	242		
	所要人員(人)	0.03	0.13	0.13		
合計(事業費+人件費)		7,761	9,228	11,589		

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	
		<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
有効性	市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		<input checked="" type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
効率性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当
	受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある
民間委託等は可能か	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
	事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
	類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当

令和6年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
市内の小・中学校全校を対象に地域未来塾事業を実施しているが、令和6年度においては、1校で学校の日程上の都合により実施できなかった。	学習支援員の確保が課題である。 また、実施内容は各学校の主体性に任せているため、学校間で実施回数や実施時間、対象学年等に差がある。 このため、各学校における取組について情報共有を図っており、今後はそれも参考にしながらより効果的な実施方法を研究、検討するよう促していく。

今後の方針																						
【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																						
本事業の実施に当たっては、学習支援員の人材確保が課題であることから、市ホームページ等も活用し募集を行っているほか、学校間の人材を共有する方法により、各学校において学習支援員の確保が図れるよう、事業の実施を促進していく。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">今後の方針</th> </tr> <tr> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </thead> </table>			今後の方針			コスト			成果	向上				維持		○		低下			
				今後の方針																		
		コスト																				
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)																						

武蔵村山市 令和7年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	部活動支援事業		
	施策名称	第4章 誰もが学び活躍できるまちづくり 第2節 教育 1 学校教育		
	所管部署	教育 部	教育指導 課	指導 係 内線 434
	根拠法令等	学校教育法施行規則		
目的	【部活動外部支援員】少子化に伴う教員数の減少や専門的な指導を行うことができる運動・部活動等の指導者不足を補い、体育・運動部活動における外部指導者の充実を図る。 【部活動指導員】教員の部活動に係る時間を軽減することを目的とする。	SDGsの取組 4 質の高い教育をみんなに		
内容	【部活動外部支援員】中学校の部活動顧問教諭等と連携・協力しながら部活動のコーチ等として技術的な指導を行う。 【部活動指導員】平日に加え、週休日や長期休業中に配置することが可能となり、対外試合の引率についても可能となる。			

評価指標	指標名	単位	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度
				目標	実績	達成率
1	部活動外部支援員及び部活動指導員の配置校数	校	目標	5	5	5
				5	5	
				100%	100%	
2	—	—	目標	—	—	—
				—	—	
				—	—	


事業経費		令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算	市民・議会等から寄せられた意見
事業費(千円)		9,342	9,304	10,421	
財源内訳	一般財源	6,120	4,700	8,757	
	国都支出金	3,222	4,604	1,664	
	その他	0	0	0	
人件費	会計年度任用職員以外の職員(千円)	1,231	1,254	1,373	
	所要人員(人)	0.16	0.16	0.16	
	会計年度任用職員(千円)	0	0	0	
	所要人員(人)	0.00	0.00	0.00	
合計(事業費+人件費)		10,573	10,558	11,794	

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
		市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当
		受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある
	効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当


令和6年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
【部活動外部支援員】 支援員数 63人 謝礼 6,769,750円 【部活動指導員】 配置人数 5人 報酬 2,459,622円 ※上記のほか費用弁償として75,080円	本市の学校部活動の支援に対応可能で、技能面の指導、大会等への引率を任せられることができる人材を地域から発掘しなければならない。

今後の方針																								
【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了 引き続き、部活動外部支援員及び部活動指導員を配置することにより、生徒に対して技術的な向上を図るとともに、教員の部活動指導に係る業務の負担軽減を図っていく。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">今後の方針</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)</p>	今後の方針		コスト					削減	維持	増加	成果	向上		○		維持				低下			
今後の方針		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上		○																					
	維持																							
	低下																							


武蔵村山市 令和7年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	校舎内部改修事業（トイレ改修）				
	施策名称	第4章 誰もが学び活躍できるまちづくり 第2節 教育 1 学校教育				
	所管部署	教育 部	教育総務 課	教育施設 係 内線 454		
内容		児童・生徒が安全に充実した学校生活が送れるように、学校施設及び設備の改修整備を計画的に推進する。 校舎トイレの内装、便器、給排水配管、換気設備及び照明器具等の全面改修をすることにより、トイレ環境の改善を図る。		SDGsの取組 4 質の高い教育をみんなに 		
事務事業の実績	事業経費		令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算	令和6年度の実績 ●第三小学校東校舎トイレ改修工事 53,216,000円 ●第三小学校東校舎トイレ改修工事に伴う工事監理委託 3,630,000円 ●雷塚小学校校舎トイレ改修工事 64,790,000円 ●雷塚小学校校舎トイレ改修工事に伴う工事監理委託 3,465,000円
	事業費（千円）		5,058	125,576	0	
	財源内訳	一般財源	5,058	5,552	-	
		国都支出金	0	78,728	-	
		その他	0	41,296	-	
	会計年度任用職員以外の職員（千円）		1,923	3,603	0	
	人件費	所要人員（人）	0.25	0.46	0.00	
会計年度任用職員（千円）		0	0	0		
所要人員（人）		0.00	0.00	0.00		
合計（事業費+人件費）		6,981	129,179	0		
所管課の評価	事務事業の成果		事務事業の評価			
	令和6年度は、第三小学校東校舎及び雷塚小学校校舎トイレの改修工事を行った。		【達成度】 <input type="checkbox"/> 目標以上 <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標以下 <input type="checkbox"/> その他 目標どおり、令和6年度中に校舎トイレ改修工事2件を実施したため。	【理由】		


武蔵村山市 令和7年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	屋内運動場トイレ改修事業				
	施策名称	第4章 誰もが学び活躍できるまちづくり 第2節 教育 1 学校教育				
	所管部署	教育 部	教育総務 課	教育施設 係 内線 454		
内容		児童・生徒が安全に充実した学校生活が送れるように、学校施設及び設備の改修整備を計画的に推進する。 屋内運動場の老朽化したトイレの全面改修を行い、屋内運動場トイレ環境の改善を図る。		SDGsの取組 4 質の高い教育をみんなに 		
事務事業の実績	事業経費		令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算	令和6年度の実績 ●第一小学校屋内運動場トイレ改修工事 27,170,000円 ●第二小学校屋内運動場トイレ改修工事に伴う実施設計委託1,650,000円 ●第三小学校屋内運動場トイレ改修工事 23,234,000円 ●第三中学校屋内運動場トイレ改修工事に伴う実施設計委託2,200,000円
	事業費（千円）		3,849	54,253	18,291	
	財源内訳	一般財源	3,849	2,818	0	
		国都支出金	0	28,676	18,291	
		その他	0	22,759	0	
	会計年度任用職員以外の職員（千円）		3,231	5,561	1,717	
	人件費	所要人員（人）	0.42	0.71	0.20	
会計年度任用職員（千円）		0	0	0		
所要人員（人）		0.00	0.00	0.00		
合計（事業費+人件費）		7,080	59,814	20,008		
所管課の評価	事務事業の成果		事務事業の評価			
	令和6年度は、第一小学校、第三小学校屋内運動場トイレ改修工事及び第二小学校、第三中学校トイレ改修工事に伴う実施設計委託を行った。		【達成度】 <input type="checkbox"/> 目標以上 <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標以下 <input type="checkbox"/> その他 目標どおり、令和6年度中に屋内運動場トイレ改修工事2件とトイレ改修工事に係る実施設計2件を実施したため。	【理由】		


武蔵村山市 令和7年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	校舎屋上防水改修事業					
	施策名称	第4章 誰もが学び活躍できるまちづくり 第2節 教育 1 学校教育					
	所管部署	教育 部	教育総務 課	教育施設 係 内線 454			
内容		児童・生徒が安全に充実した学校生活が送れるように、学校施設及び設備の改修整備を計画的に推進する。 老朽化した校舎屋上の防水改修及びフェンスの改修をすることにより、校舎の健全性を確保する。		SDGsの取組			
				4 質の高い教育をみんなに 			
事務事業の実績	事業経費		令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算	令和6年度の実績 ●第十小学校屋上防水改修工事（第一期工事） ※校舎窓枠等建具改修工事と案分している。	
	事業費（千円）		32,373	31,049	37,869		
	財源内訳	一般財源	19,731	2,373	9,008		
		国都支出金	12,642	28,676	28,861		
		その他	0	0	0		
	人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）		1,616	1,332		3,948
		所要人員（人）		0.21	0.17		0.46
会計年度任用職員（千円）		0	0	0			
所要人員（人）		0.00	0.00	0.00			
合計（事業費+人件費）		33,989	32,381	41,817			
所管課の評価	事務事業の成果		事務事業の評価				
	令和6年度は、第十小学校の老朽化した校舎屋上の防水改修及びフェンスの改修を行った。		【達成度】	<input type="checkbox"/> 目標以上 <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標以下 <input type="checkbox"/> その他 目標どおり、令和6年度中に校舎屋上防水工事を1件実施したため。			
		【理由】					


武蔵村山市 令和7年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	校舎窓枠等建具改修事業					
	施策名称	第4章 誰もが学び活躍できるまちづくり 第2節 教育 1 学校教育					
	所管部署	教育 部	教育総務 課	教育施設 係 内線 454			
内容		児童・生徒が安全に充実した学校生活が送れるように、学校施設及び設備の改修整備を計画的に推進する。 老朽化した校舎外部の窓や扉を改修することにより、窓の開閉を容易にし、気密性も向上させ、教育環境を改善する。		SDGsの取組			
				4 質の高い教育をみんなに 			
事務事業の実績	事業経費		令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算	令和6年度の実績 ●第十小学校窓枠等建具及び外装改修工事（第二期工事） ●第十小学校窓枠等建具及び外装改修工事（第二期工事）に伴う工事監理委託 3,630,000円 ●第十小学校校舎外壁下地調整等工事 10,521,929円	
	事業費（千円）		241,875	108,098	169,014		
	財源内訳	一般財源	75,413	25,205	28,323		
		国都支出金	75,962	77,980	140,691		
		その他	90,500	4,913	0		
	人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）		3,539	1,958		944
		所要人員（人）		0.46	0.25		0.11
会計年度任用職員（千円）		0	0	0			
所要人員（人）		0.00	0.00	0.00			
合計（事業費+人件費）		245,414	110,056	169,958			
所管課の評価	事務事業の成果		事務事業の評価				
	令和6年度は、第十小学校の老朽化した校舎外部の窓や扉等の改修を行った。		【達成度】	<input type="checkbox"/> 目標以上 <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標以下 <input type="checkbox"/> その他 目標どおり、令和6年度中に校舎窓枠等建具係の実施設計1件、改修工事1件を実施したため。			
		【理由】					


武蔵村山市 令和7年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	屋内運動場屋根及び外装改修事業				
	施策名称	第4章 誰もが学び活躍できるまちづくり 第2節 教育 1 学校教育				
	所管部署	教育 部	教育総務 課	教育施設 係 内線 454		
	内容	児童・生徒が安全に充実した学校生活が送れるように、学校施設及び設備の改修整備を計画的に推進する。 老朽化した屋内運動場の屋根、外壁及び窓枠を改修することにより、屋内運動場の健全性を確保及び教育環境を改善する。		SDGsの取組 4 質の高い教育をみんなに 		
事務事業の実績	事業経費		令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算	令和6年度の実績
	事業費(千円)		152,657	54,450	12,058	
	財源内訳	一般財源	54,043	450	2,729	●第八小学校屋内運動場屋根及び外装改修工事 54,450,000円
		国都支出金	98,614	50,000	9,329	
		その他	0	4,000	0	
	会計年度任用職員以外の職員(千円)		3,846	1,645	773	
	人件費	所要人員(人)	0.50	0.21	0.09	
		会計年度任用職員(千円)	0	0	0	
		所要人員(人)	0.00	0.00	0.00	
	合計(事業費+人件費)		156,503	56,095	12,831	
所管課の評価	事務事業の成果		事務事業の評価			
	令和6年度は、第八小学校屋内運動場の外装及び窓枠等を改修した。		【達成度】	<input type="checkbox"/> 目標以上 <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標以下 <input type="checkbox"/> その他 目標どおり、令和6年度中に屋内運動場屋根及び外装改修工事を1件実施したため。		
		【理由】				


武蔵村山市 令和7年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	屋内運動場床面改修事業				
	施策名称	第4章 誰もが学び活躍できるまちづくり 第2節 教育 1 学校教育				
	所管部署	教育 部	教育総務 課	教育施設 係 内線 452		
	内容	児童・生徒が安全に充実した学校生活が送れるように、学校施設及び設備の改修整備を計画的に推進する。 屋内運動場の老朽化した床の撤去、新設又は塗装改修を行い、ささくれ等による怪我の防止や屋内運動場の健全性を確保する。		SDGsの取組 4 質の高い教育をみんなに 		
事務事業の実績	事業経費		令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算	令和6年度の実績
	事業費(千円)		31,504	5,517	132,919	
	財源内訳	一般財源	21,504	617	41,803	●雷塚小学校屋内運動場床塗装等改修工事 5,517,600円
		国都支出金	10,000	0	91,116	
		その他	0	4,900	0	
	会計年度任用職員以外の職員(千円)		1,308	2,585	1,631	
	人件費	所要人員(人)	0.17	0.33	0.19	
		会計年度任用職員(千円)	0	0	0	
		所要人員(人)	0.00	0.00	0.00	
	合計(事業費+人件費)		32,812	8,102	134,550	
所管課の評価	事務事業の成果		事務事業の評価			
	令和6年度は、雷塚小学校屋内運動場の老朽化した床の塗装改修を行った。		【達成度】	<input type="checkbox"/> 目標以上 <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標以下 <input type="checkbox"/> その他 目標どおり、令和6年度中に屋内運動場床改修工事を1件実施したため。		
		【理由】				


武蔵村山市 令和7年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	校舎太陽光発電設備設置及び照明LED化事業				
	施策名称	第4章 誰もが学び活躍できるまちづくり 第2節 教育 1 学校教育				
	所管部署	教育 部	教育総務 課	教育施設 係 内線 452		
	内容	児童・生徒が安全に充実した学校生活が送れるように、学校施設及び設備の改修整備を計画的に推進する。 校舎の屋上に太陽光発電を設置し、校舎の照明器具をLEDに改修する。		SDGsの取組 4 質の高い教育をみんなに 		
事務事業の実績	事業経費		令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算	令和6年度の実績 第三中学校校舎等照明LED化工事 16,665,000円
	事業費(千円)		4,400	16,665	23,540	
	財源内訳	一般財源	4,400	1,167	23,540	
		国都支出金	0	5,198	0	
		その他	0	10,300	0	
	会計年度任用職員以外の職員(千円)		616	3,916	1,631	
	人件費	所要人員(人)	0.08	0.50	0.19	
		会計年度任用職員(千円)	0	0	0	
		所要人員(人)	0.00	0.00	0.00	
	合計(事業費+人件費)		5,016	20,581	25,171	
所管課の評価	事務事業の成果		事務事業の評価			
	令和6年度は、第三中学校の校舎等照明器具のLED化工事を行ったが、太陽光発電設備設置工事は、契約不調のため事業廃止となった。		【達成度】	<input type="checkbox"/> 目標以上 <input type="checkbox"/> 目標どおり <input checked="" type="checkbox"/> 目標以下 <input type="checkbox"/> その他 令和6年度は、第三中学校校舎等の照明器具のLED化は目標通り実施したが、太陽光発電設備設置工事は、契約不調により事業廃止となり目標を達せなかったため。		
			【理由】			


武蔵村山市 令和7年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	プール改修事業				
	施策名称	第4章 誰もが学び活躍できるまちづくり 第2節 教育 1 学校教育				
	所管部署	教育 部	教育総務 課	教育施設 係 内線 452		
	内容	児童・生徒が安全に充実した学校生活が送れるように、学校施設及び設備の改修整備を計画的に推進する。 老朽化したプール内部、プールサイドの防水等改修をすることにより、教育環境を改善する。		SDGsの取組 4 質の高い教育をみんなに 		
事務事業の実績	事業経費		令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算	令和6年度の実績 ●村山学園第二中学校プールサイド改修工事6,072,000円
	事業費(千円)		5,500	6,072	1,758	
	財源内訳	一般財源	5,500	672	1,758	
		国都支出金	0	0	0	
		その他	0	5,400	0	
	会計年度任用職員以外の職員(千円)		1,000	2,585	1,888	
	人件費	所要人員(人)	0.13	0.33	0.22	
		会計年度任用職員(千円)	0	0	0	
		所要人員(人)	0.00	0.00	0.00	
	合計(事業費+人件費)		6,500	8,657	3,646	
所管課の評価	事務事業の成果		事務事業の評価			
	令和6年度は、村山学園第二中学校の老朽化したプールサイドの改修を行った。		【達成度】	<input type="checkbox"/> 目標以上 <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標以下 <input type="checkbox"/> その他 目標どおり、令和6年度中にプールサイドの改修工事を1件実施したため。		
			【理由】			


武蔵村山市 令和7年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	校庭整備事業				
	施策名称	第4章 誰もが学び活躍できるまちづくり 第2節 教育 1 学校教育				
	所管部署	教育 部	教育総務 課	教育施設 係 内線 452		
	内容	児童・生徒が安全に充実した学校生活が送れるように、学校施設及び設備の改修整備を計画的に推進する。 校庭の整備を行い、怪我の防止や校庭の健全性を確保する。		SDGsの取組 4 質の高い教育をみんなに 		
事務事業の実績	事業経費		令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算	令和6年度の実績 ●第一小学校校庭改良工事 999,702円
	事業費(千円)		0	999	0	
	財源内訳	一般財源	-	999	-	
		国都支出金	-	0	-	
		その他	-	0	-	
	会計年度任用職員以外の職員(千円)		0	705	0	
	人件費	所要人員(人)	0.00	0.09	0.00	
会計年度任用職員(千円)		0	0	0		
所要人員(人)		0.00	0.00	0.00		
合計(事業費+人件費)		0	1,704	0		
所管課の評価	事務事業の成果		事務事業の評価			
	令和6年度は、第一小学校校庭の改良工事を行った。		【達成度】	<input type="checkbox"/> 目標以上 <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標以下 <input type="checkbox"/> その他 目標どおり、令和6年度中に校庭改良工事を1件実施したため。		
			【理由】			

武蔵村山市 令和7年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	自家用電気工作物更新事業				
	施策名称	第4章 誰もが学び活躍できるまちづくり 第2節 教育 1 学校教育				
	所管部署	教育 部	教育総務 課	教育施設 係 内線 452		
	内容	児童・生徒が安全に充実した学校生活が送れるように、学校施設及び設備の改修整備を計画的に推進する。 老朽化した自家用電気工作物の本体及び付帯設備の改修を行うことにより、電気における事故を未然に防止する。		SDGsの取組 4 質の高い教育をみんなに 		
事務事業の実績	事業経費		令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算	令和6年度の実績 —
	事業費(千円)		28,710	0	70,253	
	財源内訳	一般財源	18,210	-	70,253	
		国都支出金	0	-	0	
		その他	10,500	-	0	
	会計年度任用職員以外の職員(千円)		4,000	1,958	4,205	
	人件費	所要人員(人)	0.52	0.25	0.49	
会計年度任用職員(千円)		0	0	0		
所要人員(人)		0.00	0.00	0.00		
合計(事業費+人件費)		32,710	1,958	74,458		
所管課の評価	事務事業の成果		事務事業の評価			
	—		【達成度】	<input type="checkbox"/> 目標以上 <input type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標以下 <input checked="" type="checkbox"/> その他 令和6年度中に自家用電気工作物更新工事はなかったため。		
			【理由】			

武蔵村山市 令和7年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	児童・生徒等安全対策事業		
	施策名称	第4章 誰もが学び活躍できるまちづくり 第2節 教育 1 学校教育		
	所管部署	教育 部	教育総務 課	教育政策 係 内線 424
	根拠法令等	東京都帰宅困難者対策条例、東京都地域防災計画、東京都教育委員会学校危機管理マニュアル、武蔵村山市地域防災計画		
	目的	大規模災害発生時に備え、あらかじめ食料及び飲料水の備蓄を行うことにより、児童・生徒等の各小・中学校内における身の安全・安心の確保に寄与する。		SDGsの取組 4 質の高い教育をみんなに 
内容	大規模災害発生時、被災が想定される児童・生徒等に対して食料及び飲料水を支給するため災害対策用物資として備蓄を行う。また、使用せずに消費期限の到来する災害対策用備蓄物資については、防災啓発等の観点から各学校において効果的に活用し、又はフードバンクへの寄付を行う。			

評価指標	指標名	単位	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度
				1	災害対策用食料（アルファ米）備蓄数	箱（50食入り）
			実績	456	456	
			達成率	100%	100%	
2	災害対策用飲料水（5年保存水）備蓄数	箱（206本入り）	目標	1,227	1,227	1,391
			実績	1,227	1,227	
			達成率	100%	100%	

事業経費				令和5年度決算			令和6年度決算			令和7年度予算		
事業費（千円）				0			0			3,661		
財源内訳	一般財源	-			-			3,661				
	国都支出金	-			-			0				
	その他	-			-			0				
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）			0			0			172		
	所要人員（人）			0.00			0.00			0.02		
	会計年度任用職員（千円）			0			0			0		
所要人員（人）			0.00			0.00			0.00			
合計（事業費+人件費）				0			0			3,833		

市民・議会等から寄せられた意見

-


視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
		市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当
		受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある
	効率性	民間委託等は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当

令和6年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
令和2年度から令和4年度までにかけて購入した災害対策用備蓄物資について、令和7年度から順次消費期限を迎えるため同物資の買い替えを行う必要がある。令和6年度においては、購入実績なし。	これまでは備蓄用飲料水として5年保存水を購入していたが、経費や実用性の面から、従来と同様の安全性が保証された、より長期間の保存が可能な飲料水（10年保存水）を導入する等の工夫が必要である。


今後の方針			
【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了			
本事業は、大規模災害発生時に被災が想定される児童・生徒等に対して学校施設内における安全確保や迅速かつ円滑な救援ができるよう、今後も継続する必要がある。 また、順次消費期限が到来する災害対策用備蓄物資の更新を効率的に行うことにより、各小・中学校に在籍する児童・生徒等が必要とする食糧数を常に備蓄しておくことにつながり、費用に見合う効果が得られていると考える。			
今後の方針 コスト			
成果	向上		
	維持	○	
	低下		

（廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要）


武蔵村山市 令和7年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	校務支援システム等更新事業				
	施策名称	第4章 誰もが学び活躍できるまちづくり 第2節 教育 1 学校教育				
	所管部署	教育 部	教育総務 課	教育政策 係 内線 424		
	内容	情報の共有化、校務の効率化を積極的に推進し、児童・生徒と向き合う時間及び教材作成の時間を生み出すため、小・中学校への校務支援システムの導入を推進し、グループウェア機能や成績管理機能等が搭載された校務支援システムを平成30年度に村山学園及び教育委員会に、令和元年度に村山学園を除いた全校に導入した。導入から一定期間経過していることから、新たな機能が搭載されたシステムに更新するとともに、これに対応した校務ネットワーク環境を構築し、教員の働き方改革の更なる推進を図る。		SDGsの取組 4 質の高い教育をみんなに 		
事務事業の実績	事業経費		令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算	令和6年度の実績 令和6年9月に、保護者連絡機能等のDXに有効な機能が搭載された新たなシステムに更新した。また、セキュリティを確保した上でロケーションフリーで使用できる校内ネットワークの再構築を行った。
	事業費(千円)		0	86,242	56,126	
	財源内訳	一般財源	-	26,803	56,126	
		国都支出金	-	44,490	0	
		その他	-	14,949	0	
	会計年度任用職員以外の職員(千円)		770	1,488	258	
	人件費	所要人員(人)	0.10	0.19	0.03	
会計年度任用職員(千円)		0	0	0		
	所要人員(人)	0.00	0.00	0.00		
合計(事業費+人件費)		770	87,730	56,384		
所管課の評価	事務事業の成果		事務事業の評価			
	保護者が入力した出欠情報は教職員が使用するシステムへ自動連携されるようになり、従来発生していた端末間での情報の転送が不要になる等、業務の効率化が図られた。また、ロケーションフリーで使用できるネットワークを構築したことにより、職員室だけでなく、授業中もシステムを確認できるようになった。		【達成度】	<input type="checkbox"/> 目標以上 <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標以下 <input type="checkbox"/> その他 大きなトラブルなく、目標としていた令和6年9月からの新システム及びネットワークの本格稼働を達成したため。		
		【理由】				


武蔵村山市 令和7年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	校務用パソコン等更新業務				
	施策名称	第4章 誰もが学び活躍できるまちづくり 第2節 教育 1 学校教育				
	所管部署	教育 部	教育総務 課	教育政策 係 内線 424		
	内容	小・中学校の教職員が使用する校務用パソコンは、大半が平成30年度に導入されており、経年劣化が見られることから令和6年度に更新を行う。更なる校務の効率化の推進や教職員の負担軽減を図るため、これまで校務用と指導用で使い分けていた2台の端末の機能を1台に集約する。更なるDXを見据えて、スキャン機能等を備えた新たな複合機を各校へ導入する。		SDGsの取組 4 質の高い教育をみんなに 		
事務事業の実績	事業経費		令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算	令和6年度の実績 令和6年9月に新たな校務用の端末500台及び複合機14台を各校へ整備した。
	事業費(千円)		0	22,324	37,742	
	財源内訳	一般財源	-	22,324	37,742	
		国都支出金	-	0	0	
		その他	-	0	0	
	会計年度任用職員以外の職員(千円)		0	470	0	
	人件費	所要人員(人)	0.00	0.06	0.00	
会計年度任用職員(千円)		0	0	0		
	所要人員(人)	0.00	0.00	0.00		
合計(事業費+人件費)		0	22,794	37,742		
所管課の評価	事務事業の成果		事務事業の評価			
	校務用及び指導用のパソコンを統合することにより、端末の切り替え等の手間が省け、業務の効率化が図られた。また、新たな複合機の導入により、これまでよりも容易にスキャンが出来るようになったため、校務のペーパーレス化に向けた環境が整備できた。		【達成度】	<input type="checkbox"/> 目標以上 <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標以下 <input type="checkbox"/> その他 大きなトラブルはなく、目標としていた令和6年9月までに校務用端末の更新及び複合機の導入を達成したため。		
		【理由】				

武蔵村山市 令和7年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	大南地区学習等共用施設エレベーター等改修事業					
	施策名称	第4章 誰もが学び活躍できるまちづくり 第2節 教育 2 生涯学習					
	所管部署	教育 部	文化振興 課	生涯学習 係 内線 652			
	内容	大南地区学習等共用施設のエレベーターは、昭和57年に設置されたものであり、老朽化が進んでいることから、リニューアル工事を行うもの。		SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを 			
事務事業の実績	事業経費		令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算	令和6年度の検討状況 当該施設のエレベーターは設置から42年が経過し、老朽化が進んでいることを踏まえ、リニューアル工事の実施に向けて検討した。	
	事業費(千円)		0	0	0		
	財源内訳	一般財源	-	-	-		
		国都支出金	-	-	-		
		その他	-	-	-		
	人件費	会計年度任用職員以外の職員(千円)		0	0		0
		所要人員(人)		0.00	0.00		0.00
会計年度任用職員(千円)		0	0	0			
所要人員(人)		0.00	0.00	0.00			
合計(事業費+人件費)		0	0	0			
所管課の評価	事務事業の評価		事務事業の今後の進め方				
	【達成度】	<input type="checkbox"/> 目標以上 <input type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標以下 <input checked="" type="checkbox"/> その他 工事業者へ聴取した結果、発注から工事までの期間として4年程度が見込まれるとの回答があったことから、関係各課との調整を踏まえ再検討することとした。		エレベーター工事業者によると、現時点において受注過多の状況であり、発注から工事まで4年待ちとの回答であった。関係各課等とも調整を図りながら検討を進める。			

武蔵村山市 令和7年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	(仮称)生涯学習センター整備事業					
	施策名称	第4章 誰もが学び活躍できるまちづくり 第2節 教育 2 生涯学習					
	所管部署	企画財政 部	企画政策 課	公共施設活用 係 内線 352			
	内容	公民館、図書館、市民会館等の生涯学習施設の整備を進めるとともに、これらの施設との機能分担の在り方等に配慮しながら、中央図書館及び中央公民館の機能を併せ持つ複合施設として、(仮称)生涯学習センターの設置について検討を進める。		SDGsの取組 4 質の高い教育をみんなに 			
事務事業の実績	事業経費		令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算	令和6年度の検討状況 庁内会議体による検討 ・公共施設等整備・再編推進本部 1回 検討結果公表 ・令和7年3月27日付広資料第206号	
	事業費(千円)		0	0	0		
	財源内訳	一般財源	-	-	-		
		国都支出金	-	-	-		
		その他	-	-	-		
	人件費	会計年度任用職員以外の職員(千円)		0	0		0
		所要人員(人)		0.00	0.00		0.00
会計年度任用職員(千円)		0	0	0			
所要人員(人)		0.00	0.00	0.00			
合計(事業費+人件費)		0	0	0			
所管課の評価	事務事業の評価		事務事業の今後の進め方				
	【達成度】	<input type="checkbox"/> 目標以上 <input type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標以下 <input checked="" type="checkbox"/> その他 基本構想の策定については、令和6年度に先送りすることを決定しており、引き続き検討を行う予定としているため。		令和8年度が終期となっている公共施設等総合管理計画(個別施設計画)の計画期間を2年間延長し、関連する武蔵村山市施設保全計画(個別施設計画)と一体的に策定することを決定し、次期計画を策定する中で、既存の公共施設の最適配置に向けた検討と合わせて、(仮称)生涯学習センターの在り方についても検討予定である。			

武蔵村山市 令和7年度補助金等評価調書

補助金等の概要	補助金等名	総合型地域スポーツクラブ支援事業		
	施策名称	第4章 誰もが学び活躍できるまちづくり 第2節 教育 3 スポーツ・レクリエーション		
	所管部署	教育部	スポーツ振興課	スポーツ振興係 内線 654
	根拠法令等	武蔵村山市総合型地域スポーツクラブ設立・運営補助金交付要綱		
	目的	地域の総合型地域スポーツクラブの設立及びクラブ設立後のクラブ運営に係る活動に対し、補助金を交付することにより、クラブ設立の促進及びその運営の安定を図り、市におけるスポーツの振興及び地域社会の活性化に寄与する。	SDGsの取組 3 すべての人に健康と福祉を	
内容	交付対象となる団体が行う活動に対し、設立・運営補助金を交付する。			
対象(交付先)	武蔵村山市総合型地域スポーツクラブ「よってかっしょクラブ」ほか設立を予定する団体			



評価指標	指標名	単位	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度
				1	総合型地域スポーツクラブ数	団体
			実績	1	1	
			達成率	100%	100%	
2	クラブ会員数	人	目標	360	360	360
			実績	172	199	
			達成率	48%	55%	

補助金	事業経費				市民・議会等から寄せられた意見
	令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算		
交付金額(千円)	600	600	600		-
一般財源	600	600	600		
国都支出金	0	0	0		
その他	0	0	0		
人件費	会計年度任用職員以外の職員(千円)				他市等の状況
	770	784	859		
	所要人員(人)				
	0.10	0.10	0.10		
	会計年度任用職員(千円)				-
	0	0	0		
	所要人員(人)				
	0.00	0.00	0.00		
	合計(補助金+人件費)				
	1,370	1,384	1,459		

収入	交付団体等の決算予算の状況				交付団体等の令和6年度の市補助金の使途	
	令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算			
総額(千円)	2,934	2,844	2,931	交付金額(千円)	600	
市補助金	600	600	600	使途内訳		
会費	265	300	250			
繰越金	70	63	80			
事業収入	1,937	1,821	1,911			
その他	62	60	90			
支出	総額(千円)				割合(%)	
	2,934	2,844	2,931	団体収入に占める補助金の割合	21%	
交際費、飲食費	0	0	0	団体収入に占める繰越金の割合	2%	
人件費	1,498	1,664	1,638	交付金額に対する繰越金の割合	11%	
事業経費	1,173	1,055	1,187			
その他	263	125	106			


視点別の分析	内容	評価	
		必要である	見直しの余地がある
公益性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	一般市民にも間接的な受益があるか	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	補助基準は明確か	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
効率性	補助金の交付により期待された効果が得られたか	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	補助内容や補助額の見直しは可能か	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
率	補助期間を設定しているか	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
性	類似の補助金との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

令和6年度の実績	補助金交付に当たっての課題
総合型地域スポーツクラブ数 1団体 クラブ会員数 199人	クラブの安定的な運営のために、クラブの存在をアピールする広告宣伝に注力する必要があることから、市の継続的な財政支援が必要となる。

今後の方針																										
【今後の方向性】	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																									
総合型地域スポーツクラブは、地域のスポーツ、文化、社会的な活動により、地域コミュニティの場として一定の役割を担っており、今後その役割は更に大きくなっていくものと考えられる。市内では、平成25年2月に設立された「よってかっしょクラブ」が活動を行っている。当該クラブが各種イベントや人材育成、会員の確保等を継続的に実施していくためには、今後も継続的に本補助金の交付を行っていく必要があると考える。ただし、クラブは早期に自立する必要もあり、自立を促すべく助言を併せて行っていく。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">今後の方針</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th rowspan="2"></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	今後の方針		コスト			成果		削減	維持	増加	向上		○			維持					低下				
今後の方針		コスト																								
成果		削減	維持	増加																						
		向上		○																						
維持																										
低下																										

(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)

武蔵村山市 令和7年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	スポーツ都市宣言事業		
	施策名称	第4章 誰もが学び活躍できるまちづくり 第2節 教育 3 スポーツ・レクリエーション		
	所管部署	教育 部	スポーツ振興 課	スポーツ振興 係 内線 654
	根拠法令等	—		
	目的	「2014武蔵村山市スポーツ都市宣言」の10周年を記念し、近年、若い世代を中心に注目を集め、パラムーブメント、高齢者の健康づくり、地域交流などの地域課題の解決に資するコンテンツであるARスポーツの体験会を開催する。		SDGsの取組 3 すべての人に健康と福祉を 
内容	ARスポーツは電子機器を用いて行うスポーツであり、近年、若い世代を中心に注目を集めるなど話題性のあるコンテンツであるとともに、パラムーブメント、高齢者の健康づくり、地域交流などの地域課題の解決に資する可能性があるツールである。			

評価指標	指標名		単位	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	1	事業の実施	—	目標	検討	実施	実施
				実績	検討	実施	
達成率				—	—		
2	—	—	目標	—	—	—	
			実績	—	—		
			達成率	—	—		

事業経費		令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算
事業費（千円）		0	1,240	1,708
財源内訳	一般財源	-	811	1,230
	国都支出金	-	429	478
	その他	-	0	0
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	0	79	86
	所要人員（人）	0.00	0.01	0.01
	会計年度任用職員（千円）	0	0	0
	所要人員（人）	0.00	0.00	0.00
合計（事業費+人件費）		0	1,319	1,794


市民・議会等から寄せられた意見	
—	

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
		市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当
		受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある
	効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当

令和6年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
●ARスポーツの開催 スポーツ都市宣言記念事業 いきいきわくわくスポーツ教室「HADO体験会」 日時：令和6年10月13日(日) 午前10時～午後4時 場所：総合体育館 第一体育室 内容：ARスポーツHADO体験会等 参加者数：103人	本市はスポーツ振興を推進しているが、スポーツやレクリエーションに親しむ子どもや高齢者を対象とした運動事業は、まだ十分ではなく、体力の低下などが課題である。

今後の方針																								
【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了 本市は「スポーツ都市宣言」を掲げ、スポーツ振興を推進しており、本事業は、地域課題の解決の資となるポテンシャルを持つARスポーツを活用し、地域交流や地域経済の活性化を支援することを目的に、イベントの企画・運営を行うものである。 市民一人一人が生涯を通じて健やかで生き生きとした生活を営むことができるよう、健康づくりを推進する必要があるため、今後も事業を継続していく必要がある。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">今後の方針</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)</p>	今後の方針		コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
今後の方針		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		○																					
	低下																							

武蔵村山市 令和7年度補助金等評価調書

補助金等の概要	補助金等名	スポーツ少年団支援事業		
	施策名称	第4章 誰もが学び活躍できるまちづくり 第2節 教育 3 スポーツ・レクリエーション		
	所管部署	教育部	スポーツ振興課	スポーツ振興係 内線 654
	根拠法令等	武蔵村山市スポーツ少年団運営支援補助金交付要綱		
	目的	スポーツ少年団の運営の安定を図り、市におけるスポーツ振興及び青年の心身の健全な育成に寄与する。		SDGsの取組 3 すべての人に健康と福祉を
内容	スポーツ少年団の安定的な運営のため、団体が行う活動に要する経費の一部を補助する。			
対象（交付先）	武蔵村山市スポーツ少年団			

評価指標	指標名	単位	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	1	武蔵村山市スポーツ少年団単位団数	団体	目標	6	6
			実績	3	3	
			達成率	50%	50%	
2	-	-	目標	-	-	-
			実績	-	-	
			達成率	-	-	

補助金	事業経費				市民・議会等から寄せられた意見
	令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算		
交付金額（千円）	264	255	650		他市等の状況 -
一般財源	264	255	650		
国都支出金	0	0	0		
その他	0	0	0		
会計年度任用職員以外の職員（千円）	770	784	859		
所要人員（人）	0.10	0.10	0.10		
会計年度任用職員（千円）	0	0	0		
所要人員（人）	0.00	0.00	0.00		
合計（補助金+人件費）	1,034	1,039	1,509		

収入	交付団体等の決算予算の状況				交付団体等の令和6年度の市補助金の使途
	令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算		
総額（千円）	264	255	650	交付金額（千円）	255
市補助金	264	255	650	使途内訳	
会費	0	0	0		
繰越金	0	0	0		
事業収入	0	0	0		
その他	0	0	0		
総額（千円）	264	255	650	割合（%）	
交際費、飲食費	0	0	0	団体収入に占める補助金の割合	100%
人件費	0	0	0	団体収入に占める繰越金の割合	0%
事業経費	264	255	650	交付金額に対する繰越金の割合	0%
その他	0	0	0		

視点別の分析	公益性	市の関与は必要か	<input type="checkbox"/> 必要である	<input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地がある	
	市民のニーズに適合しているか	<input type="checkbox"/> 適合している	<input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当	
	一般市民にも間接的な受益があるか	<input type="checkbox"/> 受益がある	<input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当	
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input type="checkbox"/> 影響は大きい	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は少ない	<input type="checkbox"/> 非該当
	補助基準は明確か	<input checked="" type="checkbox"/> 明確である	<input type="checkbox"/> 不明確な部分がある		
	補助金の交付により期待された効果が得られたか	<input type="checkbox"/> 効果がある	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当	
	効率性	補助内容や補助額の見直しは可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
	補助期間を設定しているか	<input type="checkbox"/> 設定している	<input checked="" type="checkbox"/> 設定していない		
類似の補助金との統合は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当		

令和6年度の実績	補助金交付に当たっての課題
スポーツ少年団単位団数 3団体（ミニバスケットボール、合気道、バレーボール）	市内には青少年を対象として活動するスポーツ団体は多数存在するが、その多くがスポーツ少年団に加入して活動する意思はなく、市民のニーズを捉えた補助金であるとは言い難い。また、既存のスポーツ少年団本部、各単位団とも、事務処理に関する体制が整っておらず、主体的な運営がなされていないことから、市が介入しサポートせざるを得ない状況が続いているため、所管部署の負担が年々増加している。

【今後の方向性】 拡充 現状維持 縮小・見直し 廃止・休止・終了

本事業は、令和4年度の行政評価委員会による外部評価において、今後の方向性は縮小・見直しとされ、存廃を含めた見直しの検討が必要であるとの評価結果が示されている。このことから、現在本補助金を活用して活動している団体への存廃等による影響を十分に精査した上で、今後の方針を検討していく必要がある。

		今後の方針		
		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			
	維持			
	低下	○		

（廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要）

所管課の評価